

会社名 株式会社 テレビ東京ホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 石川 一郎
 (コード番号: 9413 東証プライム)
 問合せ先責任者 執行役員 経営企画局長 加藤 仁
 (Tel. 03-3587-3061)
<https://www.txhd.co.jp>

2023 中期経営計画について

当社は、「2023 中期経営計画」を策定しましたので下記の通りお知らせいたします。

記

2023~2025 年度中期経営計画は、「放送」「配信」「アニメ」の相乗効果を発揮させる「トライブリッド戦略」を徹底して収益力を高め、2025 年度の連結営業利益を 20 年度比 2 倍以上の 110 億円に引き上げる方針とします。最先端技術の活用などによるコンテンツ制作力の強化や DX（デジタルトランスフォーメーション）、人的投資の拡充、ダイバーシティ（多様性）経営の推進によって、成長を目指します。「小さくても先進的なこと」に積極的に取り組み、24 年 4 月の開局 60 周年、さらにその先の 70 周年に向けて、独自の価値を社会に提供し続けます。

【数値計画】

※21-22 年度は実績、23-25 年度は計画

	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
売上高	1481 億円	1510 億円	1570 億円	1647 億円	1700 億円
営業利益	85.8 億円	92.3 億円	95 億円	100 億円	110 億円
当期純利益	60.2 億円	67.2 億円	71 億円	75 億円	82 億円
ROE	6.9%	7.4%	7.4%	7.5%	7.7%

【経営戦略】

1. 「トライブリッド戦略」を加速、成長の新しいステージへ

- ・収益構造の改革によって連結営業利益の構成比が 17 年度の放送 7：ライツ（アニメ・配信など）3 から、22 年度はほぼ目標の 5：5 を達成し、売上高と利益のすべてで過去最高を更新した。これを受けて、改革を新しいステージに進める。屋台骨の放送は DX の導入でコストを抑えて収益性を高めるとともに、トライブリッド戦略により、アニメや配信の拡大にも直結する番組の制作・編成を確立する。U39（39 歳以下）の個人視聴率を新たな軸の一つとして、時間帯別に U39 向けやシニア向けなどと区分けした新たな編成を実現し、放送の変身がより利益率の高いアニメや配信の収益拡大にも貢献するよう改革する。この相乗効果で連結営業利益の構成比は 25 年度に放送 4：ライツ 6 となる。
- ・コンテンツ制作力は XR、CG など最先端技術の導入を含めて強化する。
- ・「海外でも稼ぐ放送局」へ。海外売上比率は 2 割を目指す。
- ・200 億円の成長投資枠などで新規事業を開発。WEB 3 など新分野にも積極的に挑戦。

2. DX で 27 年度以降、60 億円超の増収ポテンシャル創出。次世代スタジオ本格導入へ

- ・基幹システム（業務系、営業・放送系）を 24 年度から順次、全面刷新へ。
- ・次世代スタジオでバーチャル技術を開発・活用。最新技術持つ他社との連携も視野に。

3. 人的投資を 3 年間で 35 億円拡充、人材の最適配置で成長力高める

4. SDGs/ESG 経営 CO2 排出量は 24 年度末実質ゼロ、ダイバーシティ経営を推進

5. ROE（自己資本利益率）8%の達成を 20 年代後半の経営目標に。株主、従業員、取引先などステークホルダーとバランスよく成長の果実を分け合う。